



2015-2016年度

国際ロータリー第2720地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2720



ロータリー米山奨学生紹介

2015学年度

米山記念奨学会部門



チョウ カン ショウ

張 瀚丞

世 話 ク ラ ブ 宇土ロータリークラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 熊本学園大学・商学部商学科(4年)

出身地の紹介

私の出身地は中国山東省の青島です。福岡から青島まで飛行機で1時半ぐらいかかります。青島は海があるところで、たくさん港があります。日本の福岡みたいな都市です。中国で青島と言えば、青島ビールが一番有名で、8月の青島ビール祭りでは毎年約400万人の観光客が参加しています。それ以外、青島の海鮮フードもとても人気です。ですから、ビールが好きな方、海鮮フードが好きな方、ぜひ青島へ遊びに来てください。

日本での生活について

熊本市の渡鹿という所で一人暮らしの生活をしています。大学の近い所に住んでいますので、大学までいつも自転車で通います。勉強以外の時間には、アルバイトをしたり、友達と遊んだり、とにかく図書館で好きな本を読むことが好きです。大学の近くには留学生会館という所があります。時間がある時にそこで各国の友達と一緒に料理を作ります。

今学んでいること

中小企業の現状について大手企業との比較を行い、中小企業の発展戦略を研究しています。この研究を通じて、日本経済発展における中小企業が大きな役割を担っていることに気づき、社会貢献にも重要な意義を持っていることが理解できました。

将来の夢や目標

日中両国は、海を隔てて眺め合う「一衣帯水」の地理的位置にあり、距離的にも、文化的にも近いです。さらに、経済のところでは、中国は日本の最大の貿易相手国であり、日中間の経済関係は緊密かつ相互依存的になってきていると考えています。将来、大学で学んだビジネスに関する知識を活かして、将来、日中間の貿易関係の仕事をやりたいです。そして、留学生が国と国の使者として、国際交流の使命、責任を持っていると思います。将来、自分のことだけではなく、日中文化の交流事業にもやりたいと思って、様々な交流を通じて、国と国の理解、親善、平和を達成できるように皆さんと一緒に頑張りたいと思います。



カウンセラーから一言

石井 政宏（宇土ロータリークラブ）

好青年の張君は宇土ロータリークラブに打ち解けてくれております。会員は優しく良識的な方ばかりなので、居心地が良いと思います。まず、人とのつながりが大切だと思います。次に日本、中国の文化、社会など理解し合えたら良いと考えます。張君が例会に出席する時に、中国語講座を5分間してもらっております。会員にも好評で、楽しく学んでおります。張君は今、人生における大事な時期を迎えております。大学4年なので、就職活動で忙しいと思います。我々は現在、彼が日本の企業に早く内定することを願っております。就職が決まったら、宇土ロータリークラブとより深い関係が築けることを期待しております。



ハン ショウ

潘 瀟

世 話 ク ラ ブ 熊本江南ロータリークラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 熊本学園大学・国際文化(修2)

出身地の紹介

中国の江蘇省蘇州市の出身です。上海に近く、太湖という淡水湖と隣り合っているまちです。まちの中に川と橋が多いため、「水郷のまち」とも呼ばれています。呉文化の中心地として、2500年の歴史を持っています。緑茶、刺繍、そして世界遺産「古典園林」を持つ、いまはとても有名な観光地です。是非一度、遊びに来てください。

日本での生活について

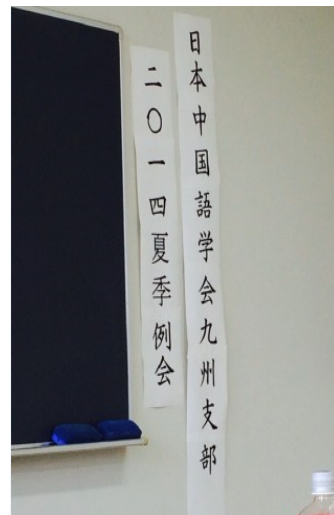
いま、熊本学園大学の近くにあるアパートに住んでいます。自分の研究のため、ほぼ毎日研究室に通っています。勉強以外、学校の先輩から仕事を紹介して頂いて、いま熊本YMCAで非常勤講師として働いています。ちゃんと日本語を勉強したいので、休日には中国語を勉強している日本人の友達と言語交換をしています。

今学んでいること

いまは熊本学園大学院修士2年生です。専攻は言語学です。私の大学時代の専門は中国語教育でした。当時、教育実習の機会を頂き、暫く日本人留学生に中国語を教えましたが、自分の能力不足のため、説明できない問題が沢山ありました。日本でのこの一年間、指導先生のもとに理論言語学の知識をマスターしました。これから、日本の言語学界の研究成果を視野に入り、新たな方法で中国語の文法研究を行おうと思っています。

将来の夢や目標

私将来卒業後、中国語教育の仕事に携わりたいです。今も少人数クラスにおける中国語教育の仕事をしていますが、教育の現場において、教師という仕事の魅力を感じ、学生と一緒に成長したいという気持ちがますます強くなっています。言語は文化交流の第一歩だと信じています。自分の知識や研究は中国語を勉強したい人の役に立てるのは一番幸せだと思います。



カウンセラーから一言

増永 諭 (熊本江南ロータリークラブ)

潘さんは、初めてお会いした時から日本語が流暢にしゃべれ、まじめでとても話しやすい方です。月2回の例会出席も、滞ることなく出席して、早くから受付のお手伝い等を積極的に行っています。また、熊本YMCAで非常勤講師されているということで、3分から5分のワンポイント中国語レッスンをしてもらって、当熊本江南ロータリークラブの会員に大好評です。この調子で頑張ってください！



コウ エキ ミン

黄 訳 民

世 話 ク ラ ブ 熊本東ロータリークラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 熊本大学大学院

社会文化科学研究科(修士2)

出身地の紹介

私は中国四川省北川羌族自治区出身です。四川省は三国史の蜀の国です。四川省と言えば、パンダや四川料理が有名です。北川羌族自治区では漢族人以外、少数民族である羌族人、チベット族人が住んでいます。私は羌族人のうち一人です。2008年5月12日四川大震災がありました。震源地の一つは北川でした。その地震で山が崩れて、町が埋もれてしまいました。その震災でたくさんの人々が亡くなりました。2010年、日本をはじめ、外国の支援を頂き、新しい町ができました。現在、後世に伝える地震遺跡はもちろん、少数民族の風習など体験できる観光地となっております。

日本での生活について

私は2009年4月日本に参りました。福岡前原市の日本語学校で一年間日本語を勉強し、2010年熊本大学に入学しました。日本語学校での一年は自分にとっては試練の一年でした。国立大学で歴史を勉強したいと強い意志を持ち、必死に勉強していました。バイトをしていなかったため、生活費がなくて一日一食、即席ラーメンだけで生活してきました。熊本に来てから、勉強はもちろん、結婚式場のアルバイトや翻訳のアルバイトも一生懸命にしました。大学やアルバイト先で多くの方々との出会い、友達となりました。勉強の時は集中して勉強し、遊ぶ時は楽しく遊びます。(笑)現在は、自分の研究以外、毎週水曜日学部2年生の後輩に専門の授業を教えています。本当に楽しい大学生活を過ごしております。

今学んでいること

留学する前から歴史に興味を覚え、大学に入ってから考古学を学び、現在も、大学院で考古学の勉強をしています。考古学は地味な学問だと思われがちですが、作業自体は確かに地味な時が多いです。しかし、考古学は発掘されたモノで歴史を語っていますので、文献より嘘や偏見が少ない「素」の歴史が分かる学問だと思っています。そして、毎年の夏休みに先生を含み、研究室の皆で一カ月間合宿して発掘調査をします。大変な一カ月間ですが、集団生活を通して、日本の習慣や礼儀を学ぶことができました。なにより、皆さんと強い絆で結ばれました。

将来の夢や目標

将来は熊本で就職したいと考えています。熊本での5年間、ロータリークラブをはじめ、多くの方々からご支援を頂きました。今まで自分が受けてきました恩恵を心に刻んでおります。ですから、私が今まで考古学を通して学んできました日本の歴史、日本での生活を通して見た本当の日本の社会、また、ロータリーの方々をはじめ、学校の先生、研究室の仲間、友達、バイト先の皆様と接して見えた本当の日本の国民性を中国だけではなく、世界各国に伝えたいです。私の夢は、国同士というスケールではなくて、人間同士の日中友好と平和を実現させたいです。現在の目標は日本で就職し、ロータリーの学友の一員になり、社会のために役に立つ一人になりたいです。



カウンセラーから一言

西上 佳孝 (熊本東ロータリークラブ)

黄さんとお会いして3カ月が過ぎました。私が今思うことは最初から本日まで一貫して礼儀正しく、また考えがブレない事です。

何がブレないかといいますと彼女自身がなんの為に日本語を勉強し、日本に来てからは日本人の本当の姿を確かめるために過去の部分(考古学)から学び将来像「出来れば熊本で就職したい」も思い描いていることです。

先日、当クラブで卓話をしてくださいました。自分の生立ちから家族のこと大学での生活などです。

出席者全員が素晴らしい卓話に拍手を贈り感激しました。

またロータリークラブ活動では例会への出席率が大変よくオリエンテーションにも積極的に参加してくれています。

来年の春までですがカウンセラーの私をはじめ、会員一同で彼女を物心両面で支えていこうと思っています。



パク ナ ヨン

朴 ナ 永

世 話 ク ラ ブ 熊本東南ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 熊本大学・社会文化科学研究科(修2)

出身地の紹介

私の出身地は韓国のソウルです。ソウルは韓国の首都であり、韓国国内での人口密集度が最も高い所です。また、観光スポットも多く美味しい食べ物がたくさんあるので、外国人観光客も非常に多いです。ソウルは海外ではありますが、熊本からだより東京より早く着くのでとても行きやすいです。観光にかかる費用とかも日本国内旅行と同じくらいなので、負担も大きくないと思います。あと、韓国語が話せなくても韓国に行けば日本語が話せる人がたくさんいるので、まだソウルにいらっしゃったことのない方々はぜひ一度お訪ね下さい。

日本での生活について

現在、熊本大学の近くで一人暮らしをしています。大学の周りなので同じ大学の友達がたくさんいます。平日はほとんど学校にいますが、週末は友達とご飯に行ったり誰かの家で集まっておしゃべりをしたりしています。色々な国の人が集まるので、楽しいのはもちろん他の国の話が聞けて自分が知らなかったことに気付くことが多くとても勉強になります。また、学校が休みになると他の地域にいる友達に会いに行きます。旅行しながら友達とも会えるのもものすごく幸せを感じます。

今学んでいること

現在、熊本大学修士2年生として、勉強をしています。大学の時から熊本大学に在学していて、日本語の助詞と韓国語の助詞の違いについて比較を行っています。何気なく使っていた言葉の中の一つである助詞がどれだけ大事なのか、助詞の使い方によって意味がどう変わるのか、日本語では言えるのに韓国語では言えなかったり韓国語では言えるのに日本語では言えない助詞について研究を行っています。

将来の夢や目標

日本語の知らない韓国の学生達に日本語の楽しさを伝えられる先生になるのが私の夢です。誰かに何かを教えてその相手がそれを分かっていく姿を見るととてもやり甲斐を感じますし、相手の嬉しそうな顔を見ると私の方まで幸せな気持ちになります。それが日本語である時、何より幸せを感じます。人と一緒に勉強することで相手だけではなく、私も日本語の勉強が出来ますし、勉強の部分だけでなく、様々な部分で成長できると 생각합니다。日本語に興味を持っている人はもちろん日本語に興味のなかった人にまで日本語に興味を持たせる人になりたいです。これがひいては、日本と韓国の関係にも役に立つと思います。

→横の写真は私が日本の方に韓国語を教える時に撮った写真です。



カウンセラーから一言

中 哲（熊本東南ロータリークラブ）

米山記念奨学生朴ナヨンさんをカウンセラーとして受け入れて早3か月が過ぎました。当、熊本東南ロータリークラブ例会には義務として月に2度の出席をお願いし例会受付のお世話も手伝ってもらっていますし、ロータアクトにも入会し今後アクターとのコミュニケーションもはかってもらいたいと願っています。日本語も文章のやり取りも何ら問題なくスムーズに行えていることで、お互いに少しは気が楽に接することが出来ているのではないかと思います。今後も世界のロータリー活動を理解が出来る様環境づくりを行えば良いと考えます。又、日本での生活をする上で、病気、怪我、等の無い様勉強に専念させ第一の目的である学業の達成が出来る様カウンセラーとして見守ることが出来れば幸いです。



コン ソン イル

権 成 一

世 話 ク ラ ブ 八代北ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 熊本大学・認知心理(4年)

出身地の紹介

京畿道義王が出身地です。子供の頃はソウルに住んでいました。
義王はソウルから電車で30分ぐらいかかる所で、自然と都市の感じが適切に調和された所です。
綺麗な湖があり、国立鉄道博物館が有名です。
年3回、都市の祭りがあり、
市民が住みやすい都市です。

日本での生活について

去年、寮から出て、一人暮らしをしています。
4年生になってからは卒論のためのゼミや論文研究、就活が主な活動になりました。
国際交流サークル活動や、交換留学生のためのチューターをやっています。
学生としてできること、留学生としてできることを探して積極的に日本と世界のあれこれを
感謝しながら体験して行きたいと思います。

今学んでいること

認知心理は人の認知活動、知覚活動を実験を通して究明し、
、心の動きと認知活動の関係を分かっていく学問です。
脳科学、脳構造、認知プロセス、人間の発達過程、言語能力など多様なテーマについて学んでいます。

将来の夢や目標

実験心理学を学んだうえ、臨床心理を学ぶ機会があれば心の
痛みのある人たちのために医療現場で働きたいな、という希
望があります。心の動きが体に与える影響、人の基底意識と
社会の動きの関連性をテーマとして研究したいです。人間の
言語形成、言語認知、外国語習得、音響認知にも興味があり
ます。多言語を学んで、人類共通普遍の価値を分かち合い、
広げる国際団体で働くのも良いと思います。



カウンセラーから一言

松嶋 洋 (八代北ロータリークラブ)

非常に真面目な性格だと思います。(少し真面目過ぎるような気もしますが?)
毎月の八代での例会に電車に参加してもらっています。また夜の例会や船出浮親睦例会等
にも積極的に参加し、ロータリーの仲間と親交を深めようとする姿勢が十分伝わります。
ロータリーとの出会いそして学んだことを将来に活かして欲しいと期待しています。



チン セイ
陳 靖

世 話 ク ラ ブ 熊本西稜ロータリークラブ
出 身 国 中国
在 籍 校 熊本大学・文化学(博3)

出身地の紹介

ウーロン茶の名産地—中国福建省出身です。気候がよく、果物の種類が豊富な所です。福建省の北部にある武夷山は岩石がピンクで、風景は非常にきれいです。福建省南部の客家土楼と共に、世界遺産に登録されました。故郷の福州市は、現代的な都市ですが、千年以上の歴史を持っているため、多くの文化遺産が残っていて、伝統的な雰囲気が溢れています。

日本での生活について

熊本市の大江という地域で一人暮らしの生活をしています。
普通は研究室で勉強していますが、時に友達と一緒に旅行に行くことが好きです。
運動も大好きで、いつも大学の体育館でエアロビクスダンスをしています。

今学んでいること

熊本大学に入学してから、教員の方々から様々なご指導をしていただき、新たな視点から自己の研究である比較文字について深く理解する機会を得ました。学友達と互いに切磋琢磨しながら、毎日新しい発見と収穫を得ています。勉強が忙しくとも、充実を感じています。
熊大での勉強生活はきっと私の将来の研究に明るい道を示すであろうと信じています。私は今「日本江戸文学と中国明清小説」について研究をしています。将来は、日中交流に貢献するために、自己の研究を役立てたいと思います。

将来の夢や目標

卒業後、私は日中交流機関、または教育機関で働きたくて、日中友好関係に関する仕事に携わりたいです。日中関係に関する仕事にしても、教育と研究の仕事にしても、私は日中両国の交流の懸け橋になれるように、精一杯頑張りたいです。にしても、私は日中両国の交流の懸け橋になれるように、精一杯頑張りたいです。



カウンセラーから一言

山角 智秀（熊本西稜ロータリークラブ）

4月より陳さんのお世話をさせていただいています。月2回例会に参加しクラブの会員との交流も深まってきました。8月には、サブ世話クラブの人吉ロータリークラブの例会にもペアで参加し、山賀米山委員長に大変お世話になり、球磨焼酎の酒蔵まで見学させていただきました。たまたま、陳さんの自宅が会社の近くな為、例会の送り迎えまでしている為に、非常に話をする機会が多くコミュニケーションは良くとれていると思います。我がクラブは夜の例会の為、8時頃送り届けるとそれからまた大学へ行くそうです。
非常に真面目で頑張り屋さんなので、無事に卒論が提出できますよう応援をしています。



ジョー ケイ コウ
徐 継 康

世 話 ク ラ ブ 熊本西南ロータリークラブ
出 身 国 中国
在 籍 校 崇城大学・情報学科(学4)

出身地の紹介

私の出身地は中国の湖南です。湖南は中国の南にあり、夏になったらとても暑いところです。湖南料理は中国の八大料理の一つであります。湖南料理は四川料理と同じように辛いものが好きなお店です。「中国で一番辛い料理」と言われることもあるが、もちろん全ての料理が辛い訳ではありません。湖南は自然風景も綺麗だし、歴史的に有名なスポットも沢山あります。皆様、ぜひ湖南へ行って下さい。

日本での生活について

今年は日本に来て6年目です。最初は食べ物や生活習慣などが慣れませんでした。今慣れた上でますます日本の生活に好きになりました。日本での生活中に、たくさんの友達ができました。日本人の友達だけではなく、世界各国の方と友達になりました。今、熊本で一人暮らしです。都会ではありませんが、美味しい水もあるし、新鮮な野菜もたくさんあります。

今学んでいること

現在、崇城大学の情報学科の四年生です。最近、力を入れていることは、ETロボットコンテストに出場する予定です。指定されたコースでレゴブロックで作った走行体が速く正確に走行するシステムを研究しています。技術の基礎を学び、チャレンジする機会と思って工夫しています。卒業研究はロボット制御に関する研究です。大学三年間で学んだことを踏まえて研究しています。

将来の夢や目標

現在、ロボット制御に関して研究していますが、まだまだ多くの知識や能力が足りません。これからはますます努力しなければなりません。小さい頃に見た鉄腕アトムのおかげでロボットに興味がありました。アトムのようなロボットは今の技術ではまだできませんが、それでも自分の夢です。夢を叶えるためには頑張っていきます。将来は人に役立つのロボットを作りたいです。自分の力で実現するまでにはまだまだですが、そういう目標を持って一生懸命勉強しています。ちなみに、右の図は、ロボットコンテストに出場のモデルです。



カウンセラーから一言

前田 崇夫（熊本西南ロータリークラブ）

徐継康君は、毎週私達の例会に出席しています。大変真面目でクラブメンバーとの交流も積極的に行っており、また、学校の方も、指導教官のもとロボットに興味を持って勉強も頑張っているとの事。将来の事もきちんと考えているようです。



リョウ イ コン

梁 維 焜

世 話 ク ラ ブ 玉名ロータリークラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 崇城大学大学院 修士2年

出身地の紹介

中国山西省 晋中市太谷県出身です。総面積1033.6km²、総人口36万人です。
太谷は、西南の汾河沿いにある祁県、そのさらに西南にある平遥県同様、明清代には山西商人(晋商)の本拠地として発展したです。清末には金融業で多くの商人が成功し、清朝における金融の中心地となったです。県城の南西部には西晋の時代に創建された無辺寺があり、山西省の重点文物保护单位になっています。寺には宋代に白塔が建立されたことより別名を白塔寺とも称されるです。その他光化寺などの仏教寺院、曹家大院など晋商の大邸宅、孔祥熙故居などの名所があります。ぜひお訪ねください。

日本での生活について

私は日本に参りまして、今年は7年目です。ずっと熊本に生活しています。住めば都という感じします。大学を通いながら、アルバイトをしています。いろいろなバイトを楽しく経験してきました。沢山の友達ができました。日本人の友達だけではなく、うちの大学にいろいろな国から来られた留学生同士もみんな一緒に食べたり、遊んだり、充実な留学生活を送っています。

今学んでいること

今、崇城大学大学院、工学研究科、応用情報学に専攻しています。
研究テーマは離散フーリエ変換処理回路の設計と性能予想です。研究室の担任の先生からいろいろなアドバイスを教えてもらいまして、勉強や研究を進んでいます。

将来の夢や目標

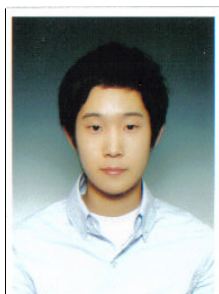
私は高校を卒業してから、日本に参りました。日本語を専攻して、大学から大学院まで、ハード系のエレクトロニクスコースを勉強してきました。いろいろな専門知識を身につけて、将来にハードウェア エンジニアになりたいと思っています。いまの段階で、就職活動を専念しています。せっかく日本に留学しに来たですから、ぜひ日本に就職したいと考えております。専門知識だけではなく、自分の語学力にも生かして活躍したいと思っています。
日本と中国の技術的な交流に自分の幼い力を貢献したいです。



カウンセラーから一言

村上 弘 (玉名ロータリークラブ)

今年の4月に私にも初めての米山奨学生の世話クラブとカウンセラーとしてのオリエンテーションに参加して、初対面の梁君にお会いして、誠実な雰囲気に関心と同時に、責任を感じました。4月9日(木)の玉名RCの例会に第1回目の出席をして貰い、例会の席で会員に彼を紹介し、自己紹介をして貰い会員と共に世話クラブとしての交流をお願いしました。その後、3度の例会出席と、早朝(6時30分)からのクリーン清掃作業にも参加して貰い、又、担当教授の萩原先生にも玉名クラブの卓話に来て頂き、感謝しております。
3か月のお付き合いですが、言葉もスムーズで、素直なお付き合いが出来ております。
今後、本人の就職活動を見守り、他クラブへの卓話などの活動を一緒に励みたいと思います



ゴ ゼ ヒョク
高 在 赫

世 話 ク ラ ブ 杵築ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 日本文理大学・建築学科(学3)

出身地の紹介

韓国のソウル出身です。ソウルは韓国の首都として、日本の東京みたいな所です。大分からソウルまでの飛行時間と大分から東京までの飛行距離が一緒なので日本のすぐ隣に位置しているため、気軽くって来ることができます。ソウルでは現代的な建物以外にも、伝統家屋とか文化遺跡がいっぱいあるので、独特な雰囲気を演出しています。是非お訪ね下さい。

日本での生活について

大分市の大在という地域で一人暮らしの生活をしています。学期中には大学に通ったり、近所の焼肉店でバイトをしています。何よりも日本人の友達と一緒に旅行に行くことが好きです。楽しいことだけではなく日本語の勉強にも役に立つので一番大きいメリットだと思っています。

今学んでいること

今、日本文理大学工学部建築学科3年生として、勉強しています。設計を行う建築家や設計技術者、構造設計、施工を行う施工技術者として、安全で安心できる建築をつくるための高度な専門知識と技術を学んでいます。

将来の夢や目標

自分がイメージするデザインを実際のものに表現できるようなプロフェッショナルな建築家になるのが将来の目標です。そして日本の耐震設計分野に対しても興味を持っています。韓国施設安全公団によれば、全国191棟の主要施設物の中、耐震設計がされていない施設物が100棟だといっています。韓国は地震安全国だと思うはずですけども、去年93回の地震が起こったようです。こんな安全不感症を持った結果、今回セウォル号沈没事故が起こったと思います。機会ができれば日本の耐震設計を身につけ、後で韓国で耐震技術が適用された建物を建ててみたいです。



カウンセラーから一言

有田 頼正（杵築ロータリークラブ）

高君のカウンセラーとして、もう2年目になります。はやいもので、あっという間の一年でした。当クラブの会員の方々と、打ち解けて自然に、親子のように会話、交流が来ていると、思います。高君の素直で真面目な性格は、何処に行っても受け入れてもらえる事と、安心しています。今、当面の心配事は、就職のこと、夢を持って建築の仕事に進もうとしている、高君に取ってふさわしい就職先が見つかる事をクラブ員一同願っています。夢は追い続ければ必ずや、かなうはずです。応援しています、頑張ってください。



ルオ ジン ナ

罗 静 娜

世 話 ク ラ ブ 大分東ロータリークラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 大分大学 医学部臨床薬理学(博4)

出身地の紹介

中国の北京出身です。北京は中国の首都で、経済と文化の中心です。北京は歴代王朝の首都だから、歴史が悠久です。もしよければ、是非一度いらしてください。伝統的な建物なら、万里の長城や、故宫博物院や、頤和園があります。近代的な建物なら、2008年オリンピック会館をおすすめします。

日本での生活について

由布市挾間というところで一人暮らしの生活をしています。よく大学研究室にありますが、時々教室の先生たちと一緒に遊びに行ったり、医学部にいる外国人留学生たちと一緒に観光に行きます。何よりも友達とテニスをするのが大好きです。

今学んでいること

今、大分大学医学部大学院医学研究科臨床薬理学講座で勉強しています。薬と食品の相互作用について研究しています。この研究によって、薬の正しい使用方法を明らかにできますので、重要な研究だと思って、頑張っています！

将来の夢や目標

2035年から、中国も高齢社会になるので、お年寄りの健康を守りたいと思います。4年間、大分大学で習ってる知識を持って帰って、中国のお年寄りが正しく薬を使えるようにしたいです。将来については、立派な神経内科の専門医になりたいです。



カウンセラーから一言

川原 謙二（大分東ロータリークラブ）

当クラブの奨学生、中国のルオ ジンナさんは、大分医大で博士課程最終学生に在籍している頭のよい女の子です。私自身詳しく彼女がどんな研究をしているかを把握しているわけではありませんが、いずれにせよ勉強・研究・論づけの生活をしていることは時々会って話を聞き、教授の指導と穏健さを聞く度に感じます。そんな中、大分東ロータリークラブの野外家族定例会が孤島の姫島で行われ彼女も参加、会員及び会員家族と一時のパカンスを楽しみました。大変な勉強ですので、将来志しを全うするものと楽しみに彼女の成長を見守っていきたいと思います。



イ ス ヨン

李 受 妍

世 話 ク ラ ブ 宇佐八幡ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 別府大学・国際言語・文化(学4)

出身地の紹介

現在、私は韓国のソウルに住んでいます。ソウルは韓国の首都であり、千万以上の人口を要する東京のような大都市です。‘伝統と現代が混じり合った都市’だとよく言われます。たくさん的高層ビルの中でもいろいろな宮を発見することができ、韓国なりの歴史的な雰囲気を感じることができます。皆さん、ぜひソウルに遊びに来てください！

日本での生活について

日本では大学の近くのマンションで一人暮らしをしています。普段は学校に行って勉強をしたり、卒業論文のための研究を行ったりします。週3,4回ぐらいは英語の塾で子供たちと大人の方々に英語や韓国語を教えるバイトをしています。ほぼ毎日、水泳や自転車に乗ってストレス解消のために運動をします。暇の時には家の近くの温泉に行つてのんびりすることや友達と旅行することが大好きです。

今学んでいること

現在、文学部の国際言語・文化学科の4年として勉強をしています。国際言語・文化学科の中にはいろいろな専攻コースがあり、私は英語・英米文学コースを選びました。イギリスやアメリカの著名な作家の生涯や作品について学び、原書などを直接自分が翻訳することによって、魅力を感じます。また、英語の歴史や文法を詳しく学ぶことで、日本語と韓国語との違いを考え、それぞれの言語的な特徴を考察していきます。

将来の夢や目標

将来的には、国際交流に少しでも役に立つ人間になりたいという意識が強くあります。自分の言語能力(日本語・英語・韓国語)をより生かして、様々な国際交流活動に積極的に参加することで、コミュニケーションスキルを積み上げて行きたいという目標があります。日本人の友人や他の国の友人とお互いの母国の文化について話し、各国の文化の違いを感じることが、私にとっては非常に有益であり、理想的な国際感覚をそこで意識することができます。日本留学をする間に、さまざまな方々と出会って、いろんなことを学びたいと思っています。



カウンセラーから一言

笛田 孝行 (宇佐八幡ロータリークラブ)

李受妍さんは、容姿端麗・語学堪能で周囲との協調性があり、向学心に燃えたすばらしい学生です。



ダン ギョウ ホウ

段 曉 鵬

世 話 ク ラ ブ 別府東クラブ

出 身 国 中国

在 籍 校 別府大学 英語・英米文学四年

出身地の紹介

私は中国山東省煙台市の海陽市の出身です。海に近い小さい町です。有名なところは“一万メートルのゴールドビーチ”です。夏るとき、たくさんの人が海で泳いだり、ビーチで遊んだりしています。海陽市は北と南を分けていて、南は漁業が主なので、海鮮がおいしいです。私は小さいときから北のほうで生活していました北は内陸で、海がないですが土地がいっぱいあります。人々は農業をしています。りんごとさくらんぼ、後は白いきゅうりが名産物です。夏るときとても人気があるのはいろいろな種類の桃です。びっくりするほど百円で6個も買えます。日本のと比べたらとても安いです。海陽市は小さい町ですがにぎやかです。そして、町の人も親切です。ぜひ遊びに来てください。

日本での生活について

私は2010年に日本に来ました。今は第六年目です。ずっと別府にいます。最初の二年は別府大学別科日本語課程で日本語を勉強していました。それから別府大学の国際言語・文化学科に進学しました。今は四年生です。最初の五年目は勉強しながらアルバイトをしていました。今年は大学生活の最後になりますが、日本で就職するつもりがあるので、就職活動がんばりながらアルバイトをしています。

今学んでいること

私は今別府大学で英語・英米文学の四年生で、論文を書いています。四年の勉強と学校以外に小学生サポートの経験を通して、子供時の教育は人生の中でとても重要だと気づき、そして、中国の教育の面にたくさんの問題点があるじゃないかを気づいています。私の研究できる範囲では、資料を調べながら日本と中国の小学校、中学校と高校の英語教育の比較を書いています。最後に両方の利点と問題点を調べ問題点については、自分が考えた問題点対策を述べます。

将来の夢や目標

将来卒業したら、日本で就職したいです。日本語英語と中国語を利用して日本と中国、アジアおよび世界の経済の発展に少しでも自分の力を入れたいです。そして、仕事をしながら今までやってきたボランティアを続けてやっていきたいと思います。日本と中国の交流に積極的に頑張りたい、日本と中国の間の架け橋になりたいです。



カウンセラーから一言

荒金 信治（別府東ロータリークラブ）

段曉鵬さんとの初めての打ち合わせは5月の終わりだったのだろうか。その時、三つの約束をしていた。三つとも変更が生まれ、私はすっかり忘れていた。段曉鵬さんは確実に実行していた。ごめん！ごめん！と謝罪していた私だった。第一印象となったのが「頼りない私に対して、しっかりした段曉鵬さん」だった。いつもにこやかにしているが、真面目で責任感のある人という第一印象を受けていた。いつも何か目標に向かっていくから誠実な受け答えと、将来のことを真面目に考えている言葉からは、夢を持って日本と中国の架け橋になってくれる人と確信している。この一年間少しでも、段曉鵬さんの役に立ちたいと思っている。これから私の家族との繋がりも深くなると思うが、私自身約束を忘れずに彼女に負けないぐらいにまじめに誠意を尽くしたいと思っている。（荒金信治）



ジュド デイルシャン

JUDE DILSHAN

世 話 ク ラ ブ 別府中央ロータリークラブ

出 身 国 スリランカ

在 籍 校 別府大学 文学部国際言語文化学科(4年)

出身地の紹介

イギリスの属民地だった頃はセイロンという名前で呼ばれていたスリランカは、1948年に独立しました。スリランカは約2000万人で、大きさは約北海道の90%となる島国です。スリランカは長年に渡り戦争がしてきて、2009年に平和になりました。今は、発展に向かって頑張っています。新しい港、国内、国際空港なども作られています。またスリランカは、海に囲まれて、自然が多く、海外観光客に人気の国と言われています。

日本での生活について

私は日本に留学して来てもう5年になろうとしています。それなりに日本の文化に慣れていると思っています。留学してからずっと別府という町に住んでいます。この町に住んでいるからこそ、温泉にも好きになったと思います。スリランカに比べて何もかもが揃っている日本はとても住みやすい国だと感じています。

今学んでいること

今、別府大学国際言語文化学科のデザイン&絵画コースに入り学んでいます。ウェブページデザイン、ロゴなどを中心に勉強しています。今は、来年1月大分県立美術館OPAMに展示される、卒業作品作りに力をつけています。

将来の夢や目標

私は将来的に、世界的に活用できるデザイナーになりたいです。これからもデザインの様々な分野のことを学び、デザイナーになるためには感性を磨いて、自分の中にあるものを一つでも多く引き出していきたいです。



カウンセラーから一言

平野 英壽 (別府中央ロータリークラブ)

大変礼儀正しく日本に親しみを抱いてくれているように思います。人懐っこくて、進んで人の世話ができる積極性があり、誰とでも進んで話ができる好青年です。



アカラモブ

アカバジョン

AKRAMOV AKBARJON

世 話 ク ラ ブ 大分中央ロータリークラブ

出 身 国 ウズベキスタン

在 籍 校 立命館アジア太平洋大学(学4)

出身地の紹介

日本から遠く離れた中央アジアの国、ウズベキスタンは、シルクロードの中心地として世界中に知られています。実は、この国では子供達は母親から「日本人のように勤勉でよく働く人になりなさい」と言われて育てられます。その理由は首都にあるナヴォイという劇場から来ています。この劇場は戦後シベリアから移送された数百名の日本人抑留者の手によってつくられましたが、完成20年後に起きた大地震の際にも崩れずに残ったことから、日本人の技術と勤勉さを目の当たりにしたウズベキ人が言い伝えているためです。ウズベキスタンは天然ガス(世界第11位)や金(世界第4位)などの地下資源の輸出に牽引される形で、数年来高い経済成長を維持しています。ここ10年の間、GDPは年間平均8%伸びています。この経済成長は日本からもJICAの人材派遣やODAによる資金援助、技術協力などを受けた結果です。このようにウズベキスタンは日本の技術力に敬意を持ち、親しみをいただいているだけでなく、経済的な結びつきも強まってきました。

日本での生活について

現在、私は温泉が有名な町として知られている別府市で住んでいます。来日後、私は様々な地域交流やボランティア活動に幅広く参加してきました。その理由は、日本社会をより良く理解し、与えられた支援や優しさを社会に還すことで更に学びたいからです。今までに、大分県内の小中学校で行われた国際交流会に参加し、学生たちに対し英語教育及び、母国の文化や伝統などについても教えました。彼らは、地域の歴史や伝統などに関して多くのことを教えてくれました。大学では、約80カ国から集まった学生たちと共に勉学に励んでいます。このような多文化環境の中で多くの留学生と交流し、コミュニケーション能力を向上させ、多角的な視野、考え方を養うことができました。

今学んでいること

私は大学で国際経営を専門として学んでいます。その中で私が最も熱心に取り組んでいるのは金融のゼミです。主に、銀行論、比較金融システム論、開発金融の研究を行ってきました。前学期は、日本のメインバンクシステムについて10ヶ国のゼミ生と文献調査やディスカッションを行いました。具体的には、他国の銀行システムと比較し、日本の銀行と企業の独特な関係性の理解を深めることができました。これらをもとに、母国の新たな銀行システムについて卒業論文を執筆中です。

将来の夢や目標

私は1993年にウズベキスタンのアンディジャンという町で生まれました。その頃、母国はソ連から独立してわずか2年後であり、経済は非常に悪い状態でした。数千万人のウズベク人は貧困や失業により、家族から離れて外国に出稼ぎに行きました。そのような環境で育った私は、家族を含む多くの人々を助け、幸せにしたいと考えるようになりました。しかし、どうすればその夢を実現できるのかわかりませんでした。その答えを探して、母国から遠く離れた日本の大学に留学しました。約80カ国から集まった学生と共に勉学に励み、世界の様々な物事について意見交換する中で、一つ大事なことに気づきました。それは、貧困や失業といった問題は母国だけではなく世界中の多くの国々に存在し、それらを解決するための最適で効果的なツールは「ビジネス」だということを見ました。国際社会の発展のために、私は大学を卒業後、国際的に幅広く貢献している企業に就職し、大学で学んだことや経験したことを活かしたいです。自国のような発展途上国の生活環境を向上させ、現地の発展と企業の発展との架け橋となる人材になりたいです。そして、国際社会で活躍して身につけた意識や経験を生かし、APUのような国際的な大学のグローバル「人財」育成に携わることが更なる目標です。



カウンセラーから一言

平倉 二三雄（大分中央ロータリークラブ）

過去、韓国、中国、といった国の奨学生たちをカウンセリングしてきた小生ですが、ウズベキスタンという、私にとってあまり知識の無かった国の奨学生は、「どんな学生だろうか…」という大変興味深々だったのですが、「青雲の志」を持った子供は、国が変わってもその瞳の輝きは、何ら変わるものでは無かったというのが第一印象です。その中でも本年度の奨学生のアカラモブ・アカバジョン君は、格段に優秀である。日本への留学の動機、将来の夢や人生のビジョンも確立されており、彼の将来は大変期待が持てるかと容易に想像できる。もともと日本への好意から興味や強い関心をもっていただけそうだが、来日してわずか3年余りしか経たないのに、日本語はほぼ完璧にマスター出来ており、更に、これほどまでに日本の文化や風習を理解している学生は稀有だと思われる。大学院を卒業したら日本の企業に就職をし、母国と日本との懸け橋になれるような仕事をしたいという彼の夢は叶ってほしいと願っています。当クラブの奨学生の期間がわずか半年という短いのが悔やまれますが、是非とも米山OBとなって、今後も交流を続けて欲しいと思っています。私の予測では、恐らく彼は近い将来、どんな職業についても必ずエグゼクティブ リーダーになるでしょう…その時、才能だけでなく、「徳」を備えた真のリーダーに成長していただきたい。つまり ノブレス・オブリージュ(Noblesse Oblige)の精神を兼ね備えた人格者へと成長されることを祈念して止まない。その人間形成に今回のROTARYの奨学生生活が少しでも役立っていて欲しいものです。8月にはご両親も卒業式に来日されるとのこと、お会いできるのが楽しみです。



キム ウォン ジェ

KIM Won Jae

世 話 ク ラ ブ 中津中央ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 立命館アジア太平洋大学

国際経営学部 4年生

出身地の紹介

現在、家族の全員がスウォン(水原)市で生活していますが、幼い頃から12年間、クァチョン(果川)市で暮らしていました。クァチョン市は、日本の別府市よりもその面積が比較的に小さい町であります。しかし、町の周りにはクァンアクサン(冠岳山)、及びチョングサン(清溪山)などの有名な山々が位置しており、こんもりとした森の環境の中で多くの人々から住みたい清潔な都市と評価されています。そして、平成24年までは政府庁舎が果川に位置しており、多くの公務員世帯が住居していました。その為、韓国のどの地域よりも交通が非常に進歩されており、多種類の食べ物や家族と一緒に時間を楽しく過ごせるソウル大公園(遊園地)が現在までも維持されています。

日本での生活について

日本の別府市で大学生活をして、いつのまにか4年という時間が経ちました。最初、日本に留学して生活している間、非常に苦労していた時期がいまだにも鮮明に覚えてます。慣れない環境の中で、最も大変だったことが言語的な違いと文化的な差に適応することだったと言えます。こういう問題を、できるだけ早く解決するために私が先に始めたことが学内外活動に参加することでした。ボクシング、英語教習、韓国語教習、そして東アジア人権キャンプのような多様な活動を通じて、日本人の方との交流に力を入れました。このような積極的な活動のおかげで、まだ十分ではないが、今は日本に居住している外国人の小学生に日本語を教えられる実力まで日本語が向上でき、日本固有の文化に対しても一歩近づくことができたと思います。

今学んでいること

私は、大学で会計専攻分野に関連する知識をさらに向上させようと「De la Salle大学/大学院」出身のコルテズ マイケル教授からゼミを受講しています。このゼミで、「CFA Research Challenge」という企業の株価を把する大会に参加できる機会があり、専門知識を実際事例に適用させ、応用力を向上できたと考えています。その上、自ら興味がある社会問題について研究も行っています。私は、平成26年に日本政府が可決した法人税改革案が、上場されている家電製品企業並びに自動車生産企業にどのような影響を与えるのかに対して研究しており、平成27年3月に開催されたグアムでの「ICBEIT」学会で全般的な研究内容を発表しました。8月の末頃には、その成果を出版するために何回も論文を修正しています。

将来の夢や目標

私は、会計及び金融学に関連する学問や知識の改善のために、世界国家間の知識交流に貢献したい夢があります。そうするためには、会計及び金融学の専門教授になるべきだと心強く感じました。そして、世界的な学会に積極的に参加することで、多様な国の研究事例を基に改善するべきの会計方針、並びに制度を把握することと国家発展基盤となる企業の効率化に力を入れようとしています。

こうした夢に一歩近づくために、私は在学中の大学を卒業した後、韓国大学院に進学する計画を立てています。まだ非常に足りない実力ですが、専攻分野に対する視野をさらに広げる目標で、2年間の修士期間に休まずに米国公認会計士(AICPA)の資格証を取得するための勉強に必死に頑張っているつもりです。

「このような計画が、果たして私の思ったとおりに願えてくれるのか」という心配がありますが、私は諦めずに継続に努力していく自信があります。



＜ゼミの友達とともに＞

カウンセラーから一言

河野 誠男（中津中央ロータリークラブ）

当クラブは韓国大田ロータリークラブとの40年にも及ぶ姉妹交流の歴史があり、韓国のロータリアンとの交流も頻繁であり、比較的韓国の文化や国民性について理解をしているものと自負しておりました。しかし、金君の礼儀正しさと向上心、向学心の強さは、我々の韓国の人に対する印象を大きく変えてくれました。金君と接していると何かしらすがすがしさを感じざるを得ません。毎月一度の例会への参加を、クラブ会員皆が楽しみにするようになりました。この意味から、クラブの活性化にも一役買ってくれています。また、当クラブの国際交流にも一役買ってもらっています。本年4月に当クラブの創立40周年記念事業を韓国の姉妹クラブのメンバー20名を招待して行いました。金君にはこの一行の通訳をお願いし、式典と翌日の日田への小旅行に同行してもらいました。英語、日本語を上手に操り会員間のコミュニケーションを大いに促進してくれました。また、その席上、韓国のロータリアンから金君の年長者への接し方や、気配りに対して最上級のお褒めの言葉を頂いたのも彼の人物でしょう。APU卒業後は韓国の大学に戻ってさらに学問に励みたいという希望も聞いています。在日中はしっかりと日本人の考え方や文化を理解してもらい、将来は日本と韓国の間の貴重な懸け橋になってくれることを期待しております。



グエン フォック クウイ トウオン

NGUYEN Phuoc Quy Tuong

世 話 ク ラ ブ 日出ロータリクラブ

出 身 国 ベトナム

在 籍 校 立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部・4年生

出身地の紹介

私の出身はベトナムの中部にあるフエ市です。フエはベトナムの歴史・伝統文化の町と呼ばれています。日本と比較するとフエは京都と同じ役割を持っています。19世紀から20世紀にかけてフエは元朝の皇帝が首都に決めました。「フエの雅楽」と「フエの建造物群」がユネスコの世界遺産に登録されています。フエでの生活は京都のように静かでとても平和な町です。福岡国際空港からフエまでは8時間ぐらいかかります。東南アジアに旅行する予定がある方にフエ観光地はおすすめです。フエでの宮殿や皇帝の陵墓などを観光することによって、ベトナムの歴史や伝統文化を肌で感じることができます。フエに来られた時には、是非私に声をおかけください。

日本での生活について

来日してから今まで3年半経ちました。現在、大分県別府市の大学に在学しています。その大学で私は70ヶ国から集まってきた様々な文化背景を持つ留学生と生活しています。文化背景の違いのために誤解すること多いですが、これらの問題を乗り越えることによって沢山国際的な経験を積むことができました。また、在住している別府市で地域の方々と仲良くなる為に文化交流イベントによく参加してきました。休みの期間にベトナムの伝統の遊びや食文化などをテーマにした講座を公民館、児童館などで開きました。実際に自分がリーダーを務めるベトナム文化のサークルメンバーと協力し、大分県の様々な場所で活動し、ベトナム文化を広めることができました。これらの活動を通して、日本文化を学べ、様々な出会いができ、とても楽しいです。

今学んでいること

立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 に在学しています。専門はメディア研究です。日本の文化がどのようににメディアによって表現されてるのかについて研究しています。そして、アジア太平洋地域で日本のメディアがどのように影響を与えるのかについての研究を積極的に取り組んでいます。それらの研究を活かして政府、管理機関、外務省などの文化、観光政策に貢献したいと考えております。また、メディアだけではなく、多文化主義の環境における高等教育の動きにも興味があり、個人研究をしています。

将来の夢や目標

私は大学でメディアや日本に関する知識などを活かして研究者として学術社会に貢献したいという目標があります。私は日本の影響力は技術力だけではなく、文化の力も非常に高いと考えています。しかし、同じ分野で韓国の韓流や台湾のドラマなどと比べると、その日本文化の力はまだ注目されていません。そういった問題の解決に貢献する為に、私は大学から卒業した後、日本の大学院に進学したいです。そこで、日本の文化政策について詳しく調査を行い、解決方法を探すつもりです。日本の影響力が強くなったら、日本の経済やアジア太平洋地域の日本の役割に大きな変化が起きると信じています。また、留学後、ベトナムに帰国し、教育の面でグローバル社会で活躍できる人材の育成に貢献したいと考えております。また、日本とベトナムの文化、教育の面での交流活動も行いたいです。将来、文化と人材育成の懸け橋になりたいです。



カウンセラーから一言

森 博美（日出ロータリークラブ）

彼とは、ロータリーで知り合い、まだ数回しかはなせませんが、第一の印象は優しく穏やかさが感じられました。メディアを通して日本の生活や感じ方を語る彼は大きな希望と夢を切実に感じました。異国の地で、楽しいことも大変なこともあるでしょうが毎日を精一杯に頑張ってほしいです。